

てんじしつ  
展示室のなぜ？

てんじしつ さむ  
～展示室ってなんで寒いのか？～



みな はくぶつかん びじゅつかん い  
皆さんは博物館や美術館に行ったことはあり

ますか？<sup>ふつう</sup>普通のショッピングモールや<sup>こうきょうしせつ</sup>公共施設

と<sup>かんきょう</sup>環境の<sup>ちが</sup>違う<sup>てんじしつ</sup>展示室に「なんで？」「あ

れっ？」と<sup>おも</sup>思うことはありませんか？



ちい ぎもん こと  
そんな小さな疑問にお答えします！

だい かいめ てんじしつ  
第1回目の展示室の「なぜ？」は・・・

てんじしつ さむ  
「展示室ってなんで寒いのか??」です！



もうすぐ<sup>あつ</sup>暑い<sup>なつ</sup>夏がやってくるね！

<sup>あつ</sup>暑い<sup>じき</sup>時期に<sup>てんじしつ</sup>展示室に入ると<sup>はい</sup>ひんやり<sup>かいてき</sup>快適～



<sup>あせ</sup>かいていた汗も<sup>あつ</sup>あつという間に<sup>ま</sup>引いて<sup>ひ</sup>いきます。



しかし、ずっと<sup>てんじしつ</sup>展示室にいると・・・

「お・・・ちょっと<sup>さむ</sup>寒いかも。」  
と<sup>かん</sup>感じたことはありませんか??



それもそのはず！<sup>はくぶつかん</sup>博物館や<sup>びじゅつかん</sup>美術館の<sup>てんじしつ</sup>展示室の<sup>おんど</sup>温度  
はだいたい<sup>しつど</sup>22℃～24℃、湿度は50%～55%に<sup>せつ</sup>設  
<sup>てい</sup>定されているんです！（<sup>かく</sup>各<sup>はくぶつかん</sup>博物館や<sup>びじゅつかん</sup>美術館など<sup>てんじ</sup>展示  
している<sup>しりょう</sup>資料によっても<sup>ちが</sup>違います）

それは<sup>さむ</sup>寒いと<sup>かん</sup>感じるはずですよね 笑



こころ かん おんど  
心のふるさと館も温度22.5℃、  
しつど せってい  
湿度50%に設定しています。

なぜ、ここまで温湿度の設定  
かんり おんしつど せってい  
管理をしているのか、それは・・・

3F 企画展示室				
TH1	温度	22.5℃	湿度	51%RH
	設定	22.5℃	設定	50%RH
TH2	温度	22.3℃	湿度	53%RH
	設定	22.5℃	設定	50%RH
TH3	温度	22.2℃	湿度	53%RH
	設定	22.5℃	設定	50%RH
TH4	温度	22.9℃	湿度	51%RH
	設定	22.5℃	設定	50%RH
TH5	温度	22.7℃	湿度	47%RH
	設定	22.5℃		
WTH6	温度	21.5℃	湿度	54%RH
WTH7	温度	21.6℃	湿度	55%RH



てんじ しりょう  
“展示している資料に

さいてき かんきょう  
とって最適な環境を

つく  
作っているから” です！



わたし にんげん あつ さむ  
私たちが「暑い」「寒い」とか「べたべた

する」「快適」と感じるように、展示されている

資料にもそれぞれ快適な温度や湿度があり、展示

している資料の破損や劣化を防ぐためにも快適な

かんきょう ととの じゅうよう  
環境を整えることがとても重要なんです！！



おんど しつど てんじしりょう れっか はそん  
なぜ、温度や湿度が展示資料の劣化や破損につ  
ながるのか。

わたし きゅう きおん へんか っ かぜ  
私たちも急な気温の変化に付いていけず、風邪  
をひいたり具合が悪くなったりすることあります  
よね？展示資料もそれと似た状態に  
なってしまいます。



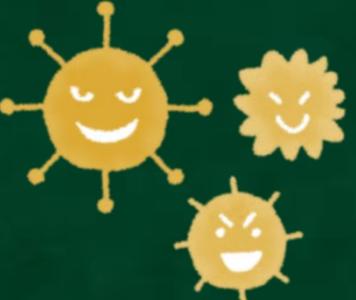
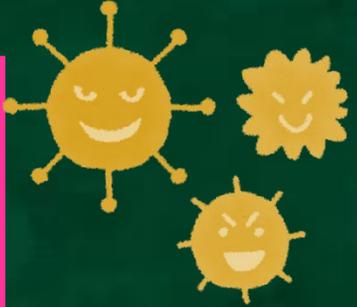
ただし、<sup>すべ</sup>全ての<sup>しりょう</sup>資料がそうなるわけではなく、<sup>ざい</sup>材  
<sup>しつ</sup>質によって<sup>おんしつど</sup>温湿度の<sup>えいきょう</sup>影響を受けやすいものや、<sup>ぎやく</sup>逆に  
<sup>えいきょう</sup>影響を受けにくいものもあります。

<sup>えいきょう</sup>影響を受けやすいもの・・・<sup>もくせいひん</sup>木製品・<sup>かみ</sup>紙・<sup>ぬの</sup>布など

<sup>えいきょう</sup>影響を受けにくいもの・・・<sup>どき</sup>土器・<sup>とうじき</sup>陶磁器・<sup>せっき</sup>石器など



おんしつど へんか なに お  
温湿度の変化によって何が起こるのか？

- 
- 
- ①資料にカビが発生する
  - ②資料が膨らんだり、縮んだりする
  - ③資料がもろくなる（紙など）

では、どんな時にカビが発生したり、膨らんだり  
するのでしょうか？

など・・・



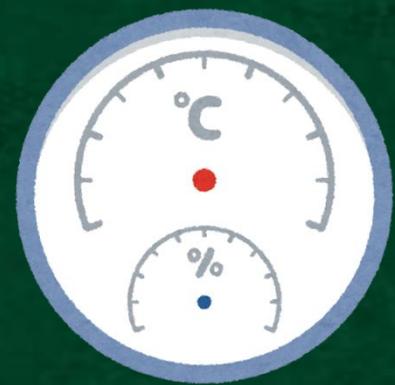
げんいん  
原因

• 湿度が<sup>しつど たか</sup>高くなることで<sup>くうきちゆう すいぶんりょう</sup>空気中の水分量がふえる  
とカビが<sup>はっせい</sup>発生しやすくなります。70%をこえると  
<sup>かっぱつ</sup>活発にふえて、そのカビに<sup>むし よ</sup>虫が寄ってきます。そ  
して、<sup>よ むし</sup>寄ってきた虫がさらに<sup>しりょう た しりょう</sup>資料を食べ、資料が  
<sup>わる じょうたい</sup>どんどん悪い状態になっていきます。



げんいん  
原因

• <sup>おんど</sup>温度や<sup>しつど</sup>湿度の<sup>へんか</sup>変化により、<sup>くうきちゆう</sup>空気中の<sup>すいぶん</sup>水分が<sup>ふ</sup>増える  
ことで<sup>しりょう</sup>資料が<sup>すいぶん</sup>水分を<sup>す</sup>吸って<sup>ふく</sup>膨らんだり、<sup>ぎやく</sup>逆に<sup>くうきちゆう</sup>空気中  
の<sup>すいぶん</sup>水分が<sup>へ</sup>減ることで、<sup>かんそう</sup>乾燥して<sup>ちぢ</sup>縮んだりして<sup>かたち</sup>形が<sup>か</sup>変  
わってしまう。



こんかいしょうかい おんしつど へんか しりょう れっか は  
今回紹介した温湿度の変化による資料の劣化や破  
損の状態、原因などはほんの**いちぶ**にすぎませんが、  
**たいせつ** **しりょう** **まも** **つた** **わたし** **がくげいいん** **おん**  
**大切な資料を守り伝える**ために、私たち学芸員は温  
湿度の徹底管理など、さまざまなところで**しりょう**  
資料に  
とって**よ** **かんきょう**環境づくりをしています。



みな はくぶつかん い かんきょう  
皆さんも博物館に行くときは、どんな環境づくり  
をしているのか少しだけ考えてみてください  
ね！

そして、<sup>うわぎ</sup>上着<sup>も</sup>を持って行って、<sup>わたし</sup>私たちに  
も<sup>かいてき</sup>快適な<sup>かんきょう</sup>環境で<sup>かんしょう</sup>じっくり鑑賞してくださいね！



じぎょうたんとう  
(事業担当 今村)

